

【報道関係各位】

株式会社ベネッセホールディングス
代表取締役社長 安達 保

小・中学生レベルの使える英語力をタブレットで測定できる 4技能検定「GTEC Junior」誕生

2016年12月より順次、小・中学校またはベネッセグループの英語教室にて受験可能に

株式会社ベネッセホールディングスの子会社、株式会社ベネッセコーポレーション(本社:岡山市、以下:ベネッセ)は、2018年度以降の小学校高学年における英語教科化の先行実施を見据え、小・中学生を対象とする英語4技能検定「GTEC Junior (Global Test of English Communication Junior)」を2016年12月より順次実施します。

「GTEC Junior」は、タブレットで小・中学生レベルの「聞く」「話す」「読む」「書く」4技能の力を測定する英語検定です。受験は、小・中学校(小5生～中1生対象)およびベネッセグループの英語教室(Benesse こども英語教室・こども英会話のミネルヴァ小2生～中1生対象コース)にて可能です。受験レベルは「Junior 1」「Junior 2」「Junior Plus」の3段階があり、小・中学校での英語指導の実態に沿いつつ、次期学習指導要領の目指すところを見据えた出題を行っています。また、発達段階を考慮し、受験の体験自体が「英語を使えた」達成感につながるよう、出題の場面設定や演出を工夫しています。結果はスコア型の絶対評価となるため、毎年受験いただくことで、受験者の英語力の伸びを把握できます。2016年度の受験者数は、小学校実施と一部のベネッセグループ英語教室生を合わせて約3,000名、2017年度は小・中学校での実施に加え、ベネッセグループ英語教室生約20,000名の受験を見込んでいます。

ベネッセは、グローバル人材育成に寄与することを目的として、英語4技能を使う力を測定するGTECシリーズを開発してまいりました。コミュニケーション力を用いる「GTEC for STUDENTS」は、1998年より提供を開始し、2015年度には中高生のスコア型英語検定で国内最多となる約81万人に受験いただきました。また「GTEC for STUDENTS」は、文部科学省「英語教育改善のための英語力調査事業」において、2014・15年度に高等学校、2015・16年度に中学校の調査問題として利用されています。さらに2002年からは、企業や大学での英語力測定を目的とした「GTEC」、2014年からは、主に高校生対象に大学入試でスコアが活用できる「GTEC CBT」も提供しています。文部科学省より2016年8月31日に発表された「高大接続改革の進捗状況について」の中では、英語の4技能評価を着実に推進するため、将来的には民間の資格・検定試験の活用のみで英語4技能を評価することを目指し、その活用を強調する考えが示されています。その民間の資格・検定試験の中に、「GTEC for STUDENTS」および「GTEC CBT」も含まれています。そしてこの度GTECシリーズの新たなラインナップとして、小・中学生の4技能評価を行う「GTEC Junior」が加わります。

このGTECシリーズの新ラインナップにより、中央教育審議会「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ(素案)」の中でも強調されている小・中・高等学校一貫した目標に対する4技能評価が可能になるとともに、小学生から社会人まであらゆる年齢層の「使える英語力」が測定できます。ベネッセは「GTEC Junior」で英語力を把握いただくことを通して、児童・生徒のさらなる成長と、学校・英語教室の先生方の今後の指導につながるサポートをしてまいります。

「GTEC Junior」実施概要

1. 正式名称 ジーテック ジュニア **GTEC Junior** (Global Test of English Communication Junior)

<画面イメージ図>



ナビゲーション
キャラクター



2. 受験レベル・出題範囲・受験対象・実施開始時期

受験レベル	出題範囲	受験対象(実施開始時期)		
		学校 (J2:16年12月 J1・JP:17年12月)	Benesse こども英語教室 (全レベル17年7月)	こども英会話の ミネルヴァ (全レベル17年10月)
GTEC Junior 1 (以下:J1)	“Hi, friends! 1” “Hi, friends! 2”の一部	小学5年生	小学2～3年生 対象コース	小学2～3年生
GTEC Junior 2 (以下:J2)	“Hi, friends! 1・2” “Hi, friends! Plus”の一部	小学6年生	小学4～5年生 対象コース	小学4～5年生
GTEC Junior Plus (以下:JP)	中学1年生の学習範囲 中学2年生の学習範囲の 一部	中学1年生	小学6年生～ 中学1年生 対象コース	小学6年生～ 中学1年生

※“Hi, friends!”は小学校外国語活動のテキストです。

※学校受験の場合、学校採択いただいた場合のみ受験可能です。なおレベルに対応する学年は上記とは限りません。

※ベネッセグループ英語教室受験者は、Benesseこども英語教室の対象コース生・こども英会話のミネルヴァの対象学年コース生のみとさせて頂き、将来的に対象拡大を検討してまいります。

※学校受験・ベネッセグループ英語教室受験は同一の出題形式ですが、出題内容が全て異なるため、同一受験者に学校・英語教室両方で受験いただくことが可能です。(いずれも2016年10月発表現在)

3. 受験料

ベネッセグループ英語教室受験の場合 J1・J2 4,104円(税込)、JP 4,644円(税込)
学校受験の場合の受験料は、次ページ「6. お問い合わせ先」にてご案内いたします。
※消費税は8%で計算しています。

4. 実施概要

タブレット・ヘッドセット・専用ペン等実施に必要な資材は全て貸し出し、事前にお届けします。
ネットワーク接続環境は不要です。

<J2の例:全部で約90分>

① 事前準備	説明・資材配付・タブレット立ち上げ・受験者情報入力
② 聞く問題	タブレット上で正しい選択肢を選ぶ
③ 読む問題	タブレット上で正しい選択肢を選ぶ
④ 話す問題	ヘッドセットを使用し、タブレットに解答を録音する
⑤ 書く問題	専用ペンでタブレット上に解答文字を記入する
⑥ アンケート	タブレット上で回答する
⑦ 片付け	タブレットの電源オフ・資材回収

<J2の出題画面イメージ>

※具体的な出題内容は、以下 URL 内「サンプル問題」にてご紹介しています。

http://www.benesse-gtec.com/fs/jr/jr_concept

■ 聞く問題



■ 読む問題



■ 話す問題



■ 書く問題



5. 結果返却

学校・ベネッセグループ英語教室実施とも、先生方には「教室用帳票」を、受験者には「受験者用スコアレポート」をお返しします。

「教室用帳票」:成績概況、成績分布、パート・設問別正答率、受験者の英語に関するアンケート結果など、次の指導につながる詳細な分析結果をお返しします。

「受験者用スコアレポート」:「GTEC for STUDENTS」とも継続して英語力の伸びが確認できる技能別評価と、年齢に応じて「できたこと」を認め、次の学習につながる具体的なアドバイスを掲載しています。

6. お問い合わせ先

0120-8888-44 通話料無料 受付時間9:00~17:00(土日祝日・お盆期間・年末年始除く)

※一部のIP電話からは086-235-2257へおかけください(ただし通話料がかかります)。

【ご参考】
●GTECシリーズのご紹介

	ジーテック フォー スチューデントズ GTEC for STUDENTS	ジーテック シービーティー GTEC C B T	ジーテック GTEC
コンセプト	実際のコミュニケーション場面で、英語4技能を使う力を測定		
開始年	1998年	2014年	2002年
測定技能	4技能（「話す」はオプション） 「聞く」「読む」「書く」	4技能 「聞く」「話す」「読む」「書く」	4技能 「聞く」「話す」「読む」「書く」
テスト目的	中高生の次の学習への気づき、 中学・高等学校での指導改善 <先生・生徒の振り返り>	高校生の大学出願、高等学校での英語指導完成の検証 <生徒の大学進学>	企業での採用試験・人材育成、 大学での英語力測定 <ビジネス場面での英語力測定>
受験者数／ 採用数	2015年度受験者数 約81万人（「聞く」「読む」「書く」）	2017年度以降 100大学以上で採用予定	グローバル企業1000社以上・ 大学の授業などでの採用実績
受験形式	学校単位での受験	個人受験（公開会場）	個人受験（公開会場） 企業単位での受験
実施形態	紙での実施（オプションの「話す」 テストはタブレットで実施）	コンピュータでの実施	コンピュータでの実施

●学校でのGTEC Junior実施について

http://www.benesse-gtec.com/fs/jr/jr_concept

●ベネッセグループの英語教室でのGTEC Junior実施について

http://www.benesse.co.jp/global/gtec_j_s

●ベネッセグループの英語教室について

- ・Benesse こども英語教室 <http://www.pippon.com/>
- ・こども英会話のミネルヴァ <http://www.minel.jp/>

※上記情報は2016年10月発表現在のものです。名称・内容などは変更することがありますので、ご了承ください。

<本件に関するお問合せ先>
 株式会社ベネッセホールディングス 広報・IR部 齋藤
 電話:03-5320-3503 FAX:03-5320-1677